

9月定例会

— 議案審議の状況 —

平成28年第3回定例会は、8月31日から22日間の会期で開かれました。第2次十和田市総合計画基本構想の策定を初め、議案7件、報告5件、認定9件が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

平成28年度一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ1億2,219万5,000円を増額し、それぞれの総額は291億6,944万8,000円となる。

歳出の主なものは、ふるさと納税寄附の件数増加への対応に要する経費、寄附等による地域振興基金積立金及び子ども夢チャレンジ基金への積立金、介護従事者の負担軽減等のための介護ロボット導入への補助、B型肝炎ワクチン予防接種を平成28年10月1日から定期予防接種として新たに実施する経費、インバウンド対策としてWi-Fi整備や冬期アクセス改善など、観光の充実を図るための経費など。

主な質疑

Q ふるさと納税寄附の件数が増加した理由は。

A 今年度からインターネット申し込み、クレジット納付等を開始し寄附者の利便性を向上させたことと、謝礼品の拡充を図ったことが理由と認識しています。インターネット申し込みを開始した6月28日からの寄附額は、773件889万円と大きく増加しています。

第2次十和田市総合計画基本構想について

第2次十和田市総合計画は、まちづくりを推進していくための最上位の計画で基本構想、基本計画及び実施計画の3層で構成されます。

基本構想は市全体で目指すべきまちの将来都市像や、すべての行政分野にわたって共通するまちづくりの基本的な考え方やその実現に向けて骨格となるまちづくりの方針を示しています。計画期間は平成29年度を初年度に、平成38年度を目標年度とする10カ年計画としています。

第2次総合計画の特徴

- ①まちづくりにおける重点事項や優先順位が明確で、より高い実効性を伴った計画
- ②PDCAサイクルに根ざした継続的な改善・改革を実践できる計画
- ③目的や目標を市民一人ひとりで共有し、実現に取り組む計画

※PDCAサイクル：Plan（計画）Do（実行）Check（評価）Act（改善）を繰り返すことで業務を継続的に改善すること

平成28年度一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ9,468万4,000円を増額し、それぞれの総額は292億6,413万2,000円となる。

歳出の主なものは、県消防操法大会ポンプ車の部で優勝した消防団選抜チームが全国大会に出場するための経費、8月に発生した台風10号により折損した「法量のイチョウ」の被害拡大を防ぐため、折れた箇所の治療及び整姿剪定等に係る委託料、8月に発生した台風及び豪雨により被害を受けた農地、農業用施設及び林道並びに道路及び河川の災害復旧事業に係る災害査定のための測量調査業務の委託料など。

その他可決した主な議案

- ◇外国人等の国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- ◇平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- ◇平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ◇平成28年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）